



しあわせ信州

長野県(南信州地域振興局・飯田保健福祉事務所・南信農業試験場・飯田建設事務所)プレスリリース
令和5年(2023年)12月21日

令和5年(2023年)県政おもなできごと in 南信州

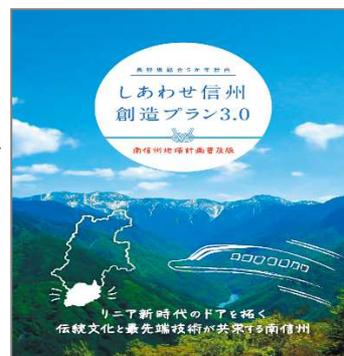
この一年を振り返り、南信州地域のおもなできごとをまとめました。

通年

●しあわせ信州創造プラン3.0～リニア新時代のドアを拓く 伝統文化と最先端技術が共栄する南信州～をスローガンとする地域計画がスタート！【地域振興局】

4月から、しあわせ信州創造プラン3.0(長野県総合5か年計画)「リニア新時代のドアを拓く 伝統文化と最先端技術が共栄する南信州」をスローガンとする「南信州地域計画」がスタートしました。

今後5年間のめざす姿の実現に向けて、地域重点政策を着実に推進してまいります。



●県民参加型予算で選定された2事業を実施しました【地域振興局】

リニア中央新幹線の開業を見据え、南信州地域の認知度向上を図るため、県民参加型予算により事業化された2事業を実施しました。

「南信州 みんなの日本一発掘プロジェクト」は、南信州の日本一となるコンテンツを発掘するため、「南信州の宝物を教えてください！」をテーマにコンテンツ案の募集をしたところ、115件ものご応募をいただき、それらを地域内外に発信・普及するため、有識者による検討会議を開催しました。

「リニア新時代を見据えた南信州メディカルバレー(仮称)構想元年」は、南信州の特性を活かしたウェルビーイングに関する調査研究・実証実験及び情報発信業務についてプロポーザル方式により受託者を募集し、3者を選定しました。天龍峡でのウェルネスウォーキング体験、ルミナコイド摂取量と健康に関する調査、バリアを活かした観光誘客と地域づくりに向けた実証実験を行いました。



2 月

●南信州元気な森フェスタを開催！【地域振興局】

南信州の森林・林業の健全な発展に資することを目的に「南信州元気な森フェスタ」を開催しました。

林業の振興などに貢献いただいた個人や団体の皆様を表彰するとともに、架線系作業システムによる林業に意欲的に取り組む事業者をお招きし講演会を行いました。



4 月

●「長野県議会議員一般選挙」を執行【地域振興局】

4月9日に長野県議会議員一般選挙が執行されました。

投票率向上に向け、街頭一斉啓発の他、企業や飯田駅前において、幅広い年代層へ投票の呼びかけを行ったところ、当地域における投票率は 50.76%で、県平均を 6%ほど上回りました。

また、4月23日の統一地方選挙（市町村長・議会選挙）では、管内7つの市町村で計 10 の選挙が執行されました。



●天竜川和船下りが再開されました！【地域振興局】

従前の運営会社が令和4年3月に事業撤退を表明した舟下り事業について、新しく設立された南信州リゾート株式会社が事業を承継し、天竜川和船下りとして令和5年4月に運航を開始しました。

観光客の皆さまに舟下りを安心して楽しんでいただくため、関係機関が連携してプレオープン前とオープン後の2回、安全点検を行いました。



●大崩落区間を迂回！国道418号福島トンネル開通【建設事務所】

令和2年1月に道路法面の大崩落が発生し不通となっていた国道418号天龍村神原地籍において、崩落箇所を迂回する福島トンネルが4月28日に開通しました。



6 月

● 6月からの大雨による災害が発生！【地域振興局・建設事務所】

台風2号の影響で活発化した梅雨前線豪雨により、飯田市南信濃観測所では6月2日に過去最大の雨量を観測しました(24時間雨量 269.5mm/24h)。土砂流出等が多数発生し飯田市上・南信濃地区、天龍村が一時孤立する事態となりました。また、住家被害が9件発生し、さらに農業関係の被害額は約5億2千万円、林業関係の被害額は約10億4千万円、建設関係の被害額は21億2千万円近くにのぼりました。

災害復旧事業や国庫補助事業等を活用し、早期かつ本格的な復旧に向けて事業を進めていきます。



8・10月

● 「知事との県民対話集会」を開催【地域振興局】

「対話と共創」の県政を推進するため、知事が県内全ての市町村を訪問し、県民の皆様とテーマに沿って語り合う知事との県民対話集会が開催されました。

農林業や観光振興、持続可能な地域づくりなど、市町村で設定した様々なテーマを中心に、活発な意見交換が行われました。【8月30日 阿智村、売木村】【10月11日 喬木村、大鹿村】【10月12日 阿南町、天龍村】



8・9・10月

● 日本なし「天空のしずく（仮称）」のお披露目会を開催&日本なし商品キャンペーンを実施！【地域振興局・南信農業試験場】

9月11日に東京及び大阪の中央卸売市場において、新品種「天空のしずく（仮称）」のお披露目会を開催しました。東京では11社、大阪では6社の市場関係者が参加する中、品種特性の紹介と試食を行い、「甘みと酸味のバランスが良くとても美味しい」と高い評価をいただきました。今後は関係機関と連携して生産振興に取り組んでまいります。

また、8月15日から10月31日まで、日本なし産地再生プロジェクト活動の一環として、南信州地域の老舗菓子店等13店舗とタイアップし、日本なしを使用した菓子等の新商品を開発・提供する「日本なし商品キャンペーン」を実施しました。さらに、キャンペーンに先立って完成した17の商品を報道機関各社へお披露目をしました。参加店舗を掲載したマップを作成・配布し消費者の購入につなげ、日本なしの産地再生を推進していきます。



9月

●南信州圏域初！医療的ケア児等のための『医療型短期入所事業所』が開設されました【保健福祉事務所】

南信州圏域には、医療的ケア児等の一時的受け入れを医療機関等が行う「医療型短期入所事業所」が無く、やむを得ず松本・長野など遠方の病院・施設を利用するなど、ご家族の人的・経済的負担は大きく、圏域の課題となっています。

この課題に、飯田医師会・県医療的ケア児等支援センター・飯田保健福祉事務所が、協働して取り組み、圏域初の「医療型短期入所事業所(空床型)」が高森町にある介護老人保健施設円会センテナリアンに開設されました。



10月

●南信州環境メッセ 2023 を開催【地域振興局】

10月28・29日、「リニアとともににぎわう環境先進地を目指して」を副題に、南信州環境メッセ2023（ゼロカーボン活動推進見本市）を飯田市内で開催しました。

「ゼロカーボンミーティング in 南信州」のほか、企業・団体等の出展、小学生の学習発表、次世代自動車の展示・試乗など、ゼロカーボン社会の実現に向けた情報を南信州から発信しました。



10・12月

●国道151号 県内全線2車線化&粒良脇トンネル供用開始！ 【建設事務所】

国道151号の県内延長47kmのうち、最後の未改良区間となっていた阿南町の新野拡幅工区（延長約2.3km）が10月に完成しました。これにより、約70年にわたる国道151号の県内2車線化工事が全て完成し、沿線地域の活性化、南信州地域の更なる発展に大きく寄与するものと期待されます。

また、平成27年度から整備を行っていた粒良脇トンネルが、9年の歳月を経て12月に供用開始の運びとなりました。旧トンネルは昭和39年に供用された後、大型車同士のすれ違いができず交通のネック箇所として早期改良が求められていましたが、新トンネルの開通により安全で円滑な交通の確保が図れるものと期待されます。



12月

●伊那谷 de キャリア教育研修会を開催しました【地域振興局】

伊那谷の未来を担う人材育成に携わる関係者を対象とした研修会を開催し、教職員や産業界などの関係者 153 名が参加しました。

3回目となる今回は、「そもそも“大人”探究できてる？」をテーマとし、探究学習の先駆者である市川力氏による講演をはじめ、地域で行われている取組の事例発表を通じ、日々の探究のきっかけづくりについてグループワークを行いました。



確かな暮らしを守り、 信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン 3.0
~大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために~

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)

南信州地域振興局 総務管理課総務係 田中
電話：0265-53-0400 FAX：0265-53-0404
E-mail：minamichi-somu@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)

飯田保健福祉事務所 総務課総務係 大月
電話：0265-53-0442 FAX：0265-53-0469
E-mail：iidaho-somu@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)

南信農業試験場 管理部 久保田
電話：0265-35-2240 FAX：0265-35-4887
E-mail：nannoshiken@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)

飯田建設事務所 総務課総務係 平澤
電話：0265-53-0448 FAX：0265-23-1699
E-mail：iidaken-somu@pref.nagano.lg.jp